

# 事業報告書

## I. 事業の概要

公益法人として第2期となる平成25年度は、

### 1. 奨学金事業として

- (1) 県内在住19名(内1名は留学のため休止)の高等学校奨学生及び大学院奨学生2名(内1名は医学部6回生)に対し、奨学金を給付した。
- (2) 奨学生同志の交流を深めるため懇親会を2回開催した。
- (3) 奨学金事業の一環として、武術研究者の甲野善紀氏を迎え講演会を開催した。

### 2. 奈良県立橿原考古学研究所へ学術研究の為の書籍を寄贈した。

## II. 事業活動

### 1. 奨学金事業

- (1) 本年度は、新採用の7名を含めて計19名(内1名は留学のため休止)の高等学校奨学生に対し月額3万円、2名の大学院奨学生(内1名は医学部6回生)に対し月額10万円の奨学金を給付した。

### (2) 懇親会

#### 《第1回》

平成25年8月24日開催 在学奨学生 16名 ・ 卒業生 9名 / 計 25名参加

・恒例の行事に加えて、午後からは、現在大学の教員をしながら自らが博士課程で学んでいる卒業生(長野県在住)に出席を依頼し、『高校を卒業してからの10年間』をテーマに、この10年間における自分を振り返って、人との出会い、大切にしてきたこと、気づいたこと等を奨学生の人達に語ってもらった。講演後、『何の為に学ぶのか』をテーマに出席者全員で話し合った。

#### 《第2回》

平成26年3月21日開催 在学奨学生 14名 ・ 卒業生 9名 / 計 23名参加

・この会は、恒例の行事の後、翌日の講演会の演題が『これから生きる君達へ』ということもあって、司馬遼太郎著『21世紀に生きる君たちへ』の本を全員に配布。話し合うテーマを『これからの時代に原発が必要か・・・』について話し合った。

(3) 文化事業

① 開催状況報告

事業名	公益財団法人修徳会講演会
演題	『これからを生きる君達へ』
講師	武術研究者 甲野善紀氏
事業の趣旨	当財団が行っている奨学金事業の対象である県内の高校生に、現に社会で活躍されている人生の諸先輩の方々のお話を身近に聴くことで、今の自分自身を感じながら、これからの自分を考える機会を提供する。
	2014 (平成26) 年 3 月 22 日 (土) 午後 2 時開演 午後 3 時 5 0 分終演
場所	修徳ビル地下スペース (奈良市登大路町5番地)
入場料	全席招待により入場料は無料 (募集人数 60名)
当日の入場者数	計 35 名 高校生 19名、大学院生1名、奨学生卒業生1名、小学生1名、中学生1名 その他社会人及び役員 12名
当日の事業概況	<p>今回の講演会の講師である甲野善紀氏は、「人間にとっての自然」を自らの身体感覚を通して探求しようと武の道に入り、古武術から学んだ身体操法や発想を研究者として世に伝えるべく社会で活動をされている。講演会の対象を高校生に限定したこと等により募集定員には至らなかったが、希望者ばかり集まった会場は、前回同様、開演前から先生のお話を聴かせていただけるという期待感で満ちあふれていた。「意識と身体」の絶妙な感覚を体現しながらのお話は興味深い上に、さらに実演には剣道や合気道をしている高校生も参加することができ、人間の意識と身体の動きとの関係をより実感することができたのではないかと思われる。講演は、『意識で身体をコントロールするのではなく、自然に委ねよということであり、そのことは人としての生き方にも通じるのではないかと思うが、それは各々で考えてほしい。』との甲野氏のしめくくりの言葉で終わった。</p> <p>講演に加えて武術の実演を交えていることから、参加した高校生にとっては、一人の人間である自分自身について、より具体的に気付いたり考えたりできる時間となったことが、講演後のアンケートからも窺える。</p> <p>今回も趣旨に沿った有意義な講演会となったといえるであろう。</p>